

調理科も旬を迎えます。

おうちであっといっ間に秋の味覚

カンタン調理科レシピ〜きのこの炊き込みごはん〜
今月のガクスタ!〜Nobegaku Style〜
企画部担当ハルによる 撮影・動画制作ウラ話02



企画部担当
ハルによる
撮影・動画
制作ウラ話

02

ノベガクStory2020 ~その2~ 【みんなの努力を台無しにする調理科の私】編

涙を流したあの名シーン、実は演技じゃなくてガチでした。

OUTLINE

7月から引き続きお届けする【企画部担当ハルによる、撮影・動画制作ウラ話】、今回はその第二弾だよ。おかげ様で前回の記事はたくさんの方の反響をもらって、Youtubeの視聴回数もたくさん伸びました！みんな見てくれたんだね、どうもありがとう！「っていうか企画部担当ハルって誰？」って声もたくさんもらってるみたいだけど、まあそんなのは気にしないで、今月号のウラ話も楽しんでどうぞ！



主人公のこの落ち込むシーンが、最後の彼女の笑顔のシーンをより感動的にしてたよね

調理科から共感殺到の物語
今回の動画ってストーリー形式で進んでいくんだけど、実はこれって実話をもとに制作してるんだよね。だからなのか、この動画は共感の声を多く呼んでいるみたい。
特にこの「みんなの努力を台無しにする私」編には、舞台となった調理科の生徒たちから強烈な共感が寄せられたよ！
この動画のモデルになったのは、去年調理科を卒業した元生徒である田代 菜菜さんの体験談。詳細は動画を観てもらおうとして、本人談は今年度学校案内の14ページで語られているから、ぜひ確認してみてね。学校案内は当校公式サイトでも見れるよ。

ドン底から始まるストーリー
動画の中で特に共感を集めてるのは、主人公が調理科の谷本先生にこっぴどく叱られる印象的なシーン。「リーダーである自分のたったひとつの指示が間違っていたせいで、料理全体を台無しにしてしまった」って話なんだけど、先生の迫真の演技のおかげで、「そういうミスをしてしまうのも、それに責任を感じてしまうのも、マジである」
「わかる、先生いつもこんな感じ」って声が上がってるんだ。

特にすごいのは、動画撮影っていう特殊な状況の中で、周りの生徒も認めるほど「いつも通り」の自然な演技をしてのける谷本先生の演技力（次号以降にまた話すけど、他の動画での先生陣のダイコン演技っぷりったらすごかったんだから！）でもこの撮影現場には、本編では語れないウラ話があったんだ。

天才的な二人の演技
撮影日は実際の調理科の調理実習の日だった。当日のテーマは和食だったから、動画では和食器が並ぶ様子が見とれる。その日、主人公役を務めた生徒・御手洗 心咲さんはデザート担当を一人で任された。
あの「先生に叱られるシーン」の撮影前、現場の生徒たちには監督であるボクから注意喚起をしたんだ。「これから先生が怒るシーンを撮りますが、これは演技なので！みなさんお気になさらないように！先生の怒号が聞こえても気にしないでね！撮影だから！」
そんな声が調理実習室に響いてた時、なんとすでに先生と御手洗さんは演技を始めていた！ボクは急いでカメラマンに撮影の指示を出す。
正面・主人公側・先生側と、3アングルの撮影をしている間、一回の休憩もなく演技を続ける二人。谷本先生の迫真の演技に、涙を流すという最高の演出で応える御手洗さん。
御手洗さんの涙をそのままに、落ち込むシーン・座り込むシーンを撮り終えた時、ボクは思わず御手洗さんに声をかけた。「なんて素晴らしい演技力！天才なの!？」って。

本番前にブツ込まれたひと言
そしたら、御手洗さんが瞳をウルウルさせながら告白した「天才的な演技力の正体」が衝撃的だった。「いや、本番前に先生に言われたんです。「今から言うこと、別に演技とかじゃねえから」って……」
そのひとコトを放った後、戸惑う御手洗さんに容赦なく浴びせられるその日の実習のガチのダメ出し。

(撮影は)すごく難しかったし、すごく恐かったです……でも、すごく楽しかったです



撮影なのに、ガチですやん先生……(泣)

ここで一応断っておくけど、「撮影はあくまで終始なごやかな雰囲気で行われた」からね！(汗)
そして感動のラストへ
ついに動画のラストシーン。先生に認められて笑顔で領きあう谷本先生と御手洗さん。さっきの説教もガチなら、この認めるシーンもガチのようで、動画では音声が乗ってないけど、先生は御手洗さんにひとコトふたコト褒め言葉をかけたみたい。
だからこそ生まれた、最後の嬉しそうな御手洗さんの笑顔が良い画になって、とっても良かった。監督的にも大満足ですハイ。



感情グチャグチャの御手洗さん (未公開映像より)



【みんなの努力を台無しにする調理科の私】編

YouTubeで 延岡学園 調理科 | を検索！

この記事を読んだ上で、またココから動画内の【天才的な演技】を見てみてね。高評価&チャンネル登録もよろしく！

お届けしたのは企画部顧問デザイナー 兼 動画監督のハルでした。
いよいよ次は最後のウラ話！また次号をお楽しみに！

主役「今、感情が迷子です」

最後に御手洗さんに撮影の感想を聞いてみると、「怒られたり褒められたり。今、感情が迷子なんです……」とのこと。
御手洗さん、良い仕事してたよ！

あつと
おうちで
いう間に
秋の味覚。



Recipe

きのこのあぶらひの炊き込みごはん



材料(4人前)

だし(だしの素+水)・・・560ml	まいたけ・・・1/3袋	鶏むね肉・・・1/4枚
うす口しょうゆ・・・45ml	しめじ・・・1/3袋	にんじん・・・1/3本
酒・・・45ml	えのき・・・1/2袋	お米・・・3合
みりん・・・30ml	しいたけ・・・3個	

きのこの量と種類は好みでOK♡

① 研ぐ お米を研いで30分くらい水につけておきます。



② 切る まいたけは半分くらいに、しめじとえのきは3等分くらいに、しいたけは適当な大きさに角切りにします。鶏むね肉は大きめの角切りにして、にんじんは火が通りにくいので小さめの角切りに切ります。

③ 合わせる 炊飯器に米・調味料のA・切った具材を入れます。

④ 炊く 炊飯器のスイッチをオン▶炊飯器の機能に【炊き込みごはんモード】がある場合はそれでもOK!

今月のレシピは、わたし達が作りました。



秋らしくて今がまさに美味しい季節なので、ぜひご自宅で作ってみてくださいね

御手洗 心咲

飯干 利舞

木切倉 玲奈

今月のガクスタ

NOBEGAKU STYLE

「延学 Style ~ガクスタ~」とは……?

延岡学園のスタイルを実践している生徒のこと。どこか変わって、でも面白くて、物事に一生懸命で、アツくて、ノベガク生活を楽しんでいる……、つまり「楽en~ガクスタ~」を実践している生徒のこと。【今月のガクスタ】では、そんな生徒をご紹介します。

第二回

木津

瑞希くん

特集

今月のガクスタは、調理科に通う3年生、木津瑞希くん。彼を取材しているよ、自分も高校生の頃に戻ったかのような軽やかな気分になったんだ。とても気さくで話しやすい彼の「ノリで送るノベガク生活」をお届けするよ。

志望理由「料理人いやん！」
広報デザイナー(以下D)

「早速だけど、木津くんはなんで調理科に入学したの？」

木津瑞希くん(以下木)
「あー…ぶっちゃけミーハーで入ったんですよ」

D「み、みーは……？」
木「中学生当時「信長のシェフ(テレビ朝日)」ってドラマがやってたんですよ。それ見て「あ、料理人になろうって軽い！」(笑)」

D「説明会とかで調理師免許が取れるって聞いてたのも良かったですし、父も調理関係で働いてて、いいじゃん！」

D「そうなんだ！じゃあお父さんのこともあって、もともと料理人になろうって言う下地はあったんだね？」

木「いや、別に……」
D「なかったのかよ！」

木「最初は地獄でしたよ(笑)」
D「中学の頃は勉強してなくて、高校に行ける頭もなかったし、何しようって悩んでたんですよ」

D「そっかあ、調理科に入ってみ



いや、別に親が料理人とかは関係ないっす(笑)

D「どうだった？」
木「まあもちろん、最初は地獄でしたよ(大笑)。実習の時間になるともう腹痛くなるんですよ(笑)」

D「そっか、周りは本気で来てる人ばかりなわけだし」
木「ですす、もう場違い感ハンパ無かったですもん(笑)」

D「じゃあそんな中で続けていくの辛かったんじゃない？」
木「いや、もう一年生も終わる頃には楽しくなりましたね」

D「へえー！なんぞ？」
木「慣れたのもあるかもしれないんですけど、やっぱりできるよーうになると楽しくて、今や授業より実習の方が好きです」

D「ラクだから」放送部に入部

D「部活とかは？」
木「放送部(笑)です」
D「なに笑るとんねん」

最初は場違い感ハンパ無かったですw

木「ラクなんですよ！体育祭の時とかみんなが炎天下の中ひたひたでテントから『みんな頑張ってるなあ』って見てるだけですよ(笑)」
D「でも放送部だった大会とかあるでしょ？」
木「そうなんですよ！一回行ってみたらなんか周りがめっちゃ発声練習とかしてて、場違い感再びですよ(笑)」

D「なるほどね」
木「考える必要がある時は、その時に考えればいいし、勉強が面白いと思うんですよ」

今になって思うこと
D「これ中学生も読むけど、伝えたいこととかある？」
木「んー、今になって、ちゃんと勉強しとけばよかったなあって思いますね」

D「ほう、という？」
木「高校になって授業についていくの大変なんです。あとは放送部に入って欲しいです。兼部してもいいですし、ラクだよ！笑」

D「なんか話して思うけど、木

物事はシンプルに

D「なんか話して思うけど、木

企画・広報デザイナー・ハル

木「親にも『お前は人生をナメてる』って言われます(笑)。でもわからないことを難しく考えるよりは、シンプルに考えて楽しんで過ごしたいんですよ(笑)」

D「なるほどね」
木「考える必要がある時は、その時に考えればいいし、勉強が面白いと思うんですよ」

ホントはもっともっと楽しくいろんな話してただけで、今月はここまで。

決してカッコつけたりせず、自然体で人生を楽しんでる様子はとっても素敵に見えた。

軽やかに見えて、ちゃんというんなものを克服してるんだよね。その努力を努力だと意識せずに飄々と生きてる様は、カッコよくすらあると思う。彼にはこれから

も彼らしくいて欲しいと思う筆者なのでした。

企画・広報デザイナー・ハル

発行元：学校法人 延岡学園 延岡学園高等学校 ☎0982-33-3227(代) 0982-35-1025



公式サイト <https://nobeokagakuen-ed.jp/>

Instagram nobegaku |
Twitter @nobeokagakuen
YouTube 延岡学園 公式チャンネル